

平成 2 0 年千葉市教育委員会会議
第 1 0 回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成20年千葉市教育委員会会議第10回定例会会議録

日時 平成20年10月15日(水)

午後2時00分開会

午後3時20分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員	委 員 長	津田 英彦
	委 員	奥山 福子
	委 員	岩沼 静枝
	委 員	内山 英夫
	委 員	梅谷 忠勇
	教 育 長	飯森 幸弘

出席職員	教 育 次 長	小川 隆	教育センター所長	菊地 明
	教 育 総 務 部 長	武田 昇	養護教育センター所長	宍倉 喜巳
	学 校 教 育 部 長	岩切 裕	生涯学習部参事(生涯学習振興課長事務取扱)	本庄 賢一
	生涯学習部 長	河野 正行	社 会 体 育 課 長	小川 重夫
	教育総務部参事(総務課長事務取扱)	青葉 正人	青 少 年 課 長	村松 好晴
	教育総務部参事(企画課長事務取扱)	山崎 正義	中 央 図 書 館 長	田口 幸男
	学 校 財 務 課 長	豊田 英男	総 務 課 総 括 主 幹	伊藤 太一
	学 校 施 設 課 長	豊田 滋貴	学 事 課 調 整 主 幹	山本 和豊
	学 事 課 長	吉田 進	生涯学習振興課調整主幹	海保 英利
	教 職 員 課 長	時田 猛	総 務 課 主 幹	杉江 達也
	指 導 課 長	小池 公夫	総 務 課 主 幹	山田 輝夫
	保 健 体 育 課 長	嶋田 信昭		

書 記	総 務 課 長 補 佐	大崎 賢一	総 務 課 副 主 査	小池 正彰
	総 務 課 総 務 係 長	藤代 真史	総 務 課 主 任 主 事	渡邊 賢一
	総 務 課 人 事 係 長	内山 健	総 務 課 主 事	犬飼 綾
	総 務 課 経 理 係 長	高橋 義浩		

- 1 開会
津田委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
津田委員長より奥山委員を指名
- 4 会期の決定
平成20年10月15日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 議事の概要
 - (1) 非公開事項の決定
協議事項(1)を非公開審議とする旨決定
 - (2) 報告事項
報告事項(1) 平成20年第3回千葉市議会定例会について
総務課長より報告があった。
報告事項(2) 平成21年度公立学校教員採用候補者選考（二次）受験状況について
教職員課長より報告があった。
報告事項(3) 平成21年度小・中・特別支援学校管理職選考について
教職員課長より報告があった。
報告事項(4) 平成19年度千葉市学力状況調査結果（千葉市独自実施分）の概要について
指導課長より報告があった。
報告事項(5) 学校給食「市民の日特別メニュー」の実施について
保健体育課長より報告があった。
報告事項(6) 千葉市立加曽利貝塚博物館の臨時休館について
生涯学習振興課長より報告があった。
報告事項(7) 第15回千葉市スポーツ・レクリエーション祭について
社会体育課長より報告があった。
報告事項(8) 2008国際千葉駅伝について
社会体育課長より報告があった。
 - (3) 議決事項
議案第35号 千葉市図書館管理規則の一部改正について
中央図書館長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決

した。

議案第 36 号 平成 20 年度末及び平成 21 年度公立学校職員人事異動方針について

教職員課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

(4) 協議事項

協議事項(1) 平成 21 年度文部科学省概算要求主要事項について

企画課長より参考説明の後、協議が行われた。

(5) 発言の要旨

報告事項(1) 平成 20 年第 3 回千葉市議会定例会について

津田委員長 総務課長、報告をお願いします。

総務課長 報告事項(1)「平成 20 年第 3 回千葉市議会定例会について」、経過を報告します。第 3 回千葉市議会定例会は 9 月 8 日から 10 月 3 日までの会期で行われました。教育委員会に関わる補正予算等 3 件の議案について、原案どおり議決されたことは前回の教育委員会会議で報告いたしましたので、それ以降の審議状況について報告します。9 月 26 日から 10 月 2 日まで行われた一般質問ですが、議員 19 人から質問の通告があり、このうち 12 人の議員が教育委員会に対して質問を行いました。主な質問内容ですが、個人情報保護セキュリティ対策、学校適正配置、学習指導要領改訂に対する本市学校教育の姿勢、幼稚園就園奨励費、不登校対策、特別支援教育、文化財の保存と活用、プール開放事業の廃止、青少年の日などの質問がありました。次に、平成 19 年度の決算の認定についてですが、教育委員会が関わる「一般会計歳入歳出決算」、「学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算」、「公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算」の 3 件の決算議案は、決算特別委員会の審査を経て、10 月 3 日の本会議において、いずれも原案どおり、認定されました。

報告事項(2) 平成 21 年度公立学校教員採用候補者選考(二次)受験状況について

津田委員長 教職員課長、報告をお願いします。

教職員課長 報告事項(2)「平成 21 年度公立学校教員採用候補者選考(二次)受験状況について」報告します。去る 8 月 21 日から 23 日の 3 日間で小学校を除く受験者を対象に、また、8 月 30 日、31 日の 2 日間で小学校の受験者を対象に二次選考を実施しました。二次選考の合格者の状況ですが、全体で 1,406 人です。最終

的に、志願者数に対して3.9倍の倍率となりました。今年度の選考の特徴ですが、先ず、小学校において岩手大学で県外選考を実施し、志願者の確保に努めました。二次選考の合格者が686人、志願者に対して2.9倍の倍率であり、昨年を若干上回る結果となり、一定程度の効果が見られたと考えております。次に、中高共通では、募集人数を昨年より120人増やし、550人としたため、全体の倍率が、昨年度の6.3倍から今年度5.0倍と低くなっております。また、来年度から、新学習指導要領の移行措置により授業時数が増え、数学、理科教員の不足が懸念されることから、特に、中高では数学、理科の教員確保に努めているところです。そのため、最終的な倍率が、数学では3.8倍、理科では3.2倍となり、昨年の数学・理科の最終倍率4.8倍と比して低くなっています。結果については、10月9日に、合格者に郵送で通知しています。採用選考の透明性確保のため、様々な改善策を実施しておりますが、今回から、郵送による可否の通知だけではなく、ホームページ上で合格者の受験番号を公表しております。また、今年度の選考の基準、配点、面接等の選考の基準等も、開示請求があれば公表するということで現在対応しているところです。来年度も、今年度並みの採用が見込めるのではないかと考えておりますので、今年度の改善点等を反省しながら、来年度優秀な人材を確保できるよう、選考に努力していきたいと思っております。

岩 沼 委 員 初めて県外での選考を行ったとのことですが、その効果など、詳しく教えてください。

教職員課長 今年度、岩手大学で実施しました。今回は小学校のみということで実施しましたが、240人の受験者があった状況からすると、来年度、場合によっては中学校等を含めて岩手大学で実施し、更に東北会場の枠を広げたいという状況になってきております。東北地区から千葉まで来て受験していただくことは、交通費もかかり、天候にも影響される状況を考えますと、東北会場での実施は受験生のニーズにも合うことから、来年度も引き続き、岩手大学で実施していきたいと考えております。

岩 沼 委 員 かなり効果があったということですね。

梅 谷 委 員 岩手大学を選ばれた理由はありますか。

教職員課長 東北6県の方々が、集まりやすい場所との地理的な問題で、いくつか候補はありましたが、岩手大学を選考させていただきました。

た。

飯森教育長 県外選考については、平成4年～6年に弘前大学において実施しており、今年度再開したもので、今回が初めての試みという訳ではありません。

津田委員長 大学の推薦枠がありますが、一大学何人など、決まりがあるのかどうか、また、一次選考はほぼ合格しているものの、二次選考では若干の不合格者が出ている状況が見えますが、それは大学によって差がありますか。

教職員課長 大学推薦枠は、小学校の一種教員免許が取得できる大学を対象にしています。全国で101の大学が対象となっています。昨年度の受験者数は、40数人と少なかったのですが、昨年度の実績等を加味し、大学によっては複数名の受験も可とするなど枠を広げたため、今年度は100人を超える受験者数となりました。大学推薦の受験者は、一部試験内容を免除している部分がありますが、二次選考において、面接、模擬授業、実技検査をトータルでみるため、大学の推薦は受けてはいるものの、他の一般選考と比べ、総合的に見て合格に値しないという判断がなされた者が、数にあらわれたものです。また、特にどの大学だから不合格ということではなく、受験者の持っている力量で判断しています。

報告事項(3) 平成21年度小・中・特別支援学校管理職選考について

津田委員長 教職員課長、報告をお願いします。

教職員課長 報告事項(3)「平成21年度小・中・特別支援学校管理職選考について」報告します。来月11月8日、9日の2日間に渡り、管理職選考の試験を実施します。本年7月に選考要綱他、関係書類を各学校へ配布、通知を行い、去る9月中旬に志願者の受付を行ったところです。その結果、校長候補者については66人、教頭候補者については105人が志願している状況です。昨年の志願者数は校長、教頭合わせて169人ですので、昨年より若干増えております。現在、教職員課において実施要領等を整えており、今月中には、志願者のいる学校の校長宛て通知する予定です。なお、昨年度と同様に、教育委員会内の職員の管理職選考についても、同日、同じ内容で選考を行っていく予定です。大分県での採用、昇進に関わる不祥事により、昇進に係る管理職選考についても関心の目が向けられている状況ですが、これまで以上に、公平公正な選考を行い、厳正に実施してまいります。

梅谷委員 校長候補者の66人、教頭候補者の105人という人数は、

倍率と言いますか、採用する枠の関係でしょうか。

教職員課長 校長・教頭の退職者数と、既に合格者名簿に登載されている人数とを見込みながら、採用の枠を決めていきます。その年により、多少合格率は上下し、一概に何倍ということは言えません。

報告事項(4) 平成19年度千葉市学力状況調査結果(千葉市独自実施分)の概要について

津田委員長 指導課長、報告をお願いします。

指導課長 報告事項(4)「平成19年度千葉市学力状況調査結果(千葉市独自実施分)の概要について」報告します。本調査は、児童生徒に基礎・基本を身に付けさせ、学力の向上を図るために、平成16年度から実施しているもので、全市的な学力に関する調査を通して、各教科の基礎・基本の定着状況等を把握し、指導上の課題を明らかにするものです。調査の対象は、市内全小学校の3年生・5年生及び稲毛高等学校附属中学校を除いた中学校56校の2年生、合計約24,000人です。調査内容は、小学校は国語、算数、社会、理科の4教科と意識調査、中学校はこれらに英語を加えた5教科と意識調査です。年度末の2月から3月にかけて実施しています。正答率の評価基準については、調査に用いた千葉県標準学力検査の18年度県平均正答率を「目標通過率」として使用し、この平均正答率の±5%の範囲にあれば「おおむね良好」としております。先ず、学力調査正答率の結果概要についてです。小学校3年生・5年生、中学校2年生の順で、表とグラフで示しました。棒グラフは、左から順に「目標通過率」「平成18年度の本市正答率」「平成19年度の本市正答率」です。小学校3年生の国語を例にしますと、目標通過率が69%、平成18年度が70%、平成19年度が71%となります。結果をみますと、小学校3年生、5年生では、市の正答率が県の平均を上回っており、さらに今回の正答率が昨年のもを上回っています。中学校2年生は県の目標通過率を幾分上回っていますが、前年との比較においては、ほぼ横ばいの傾向であるといえます。なお、学力は正答率や得点も重要な指標ですが、それだけではなく思考力、技能、活用する力などが含まれます。これらの内容については、今回の調査において、子どもたちがどのように問題を間違えたのか、等の分析から学習状況の把握を行い、学習指導上の課題としてまとめてまいります。次に、「3 授業が『わかる』子どもの割合は？」ですが、このグラフは、国語や数学などの「教科の勉強がよくわ

かる」について、“そう思う”と“どちらかと言えばそう思う”というように、「わかる」ということに対し肯定的に回答した児童生徒の回答割合を、直近3年間の経年比較で示したものです。全体的には、本市の「わかる授業の割合」は向上していることがわかります。特に、小学校での「わかる割合」が、より向上している実態が見て取れます。また、中学校2年生のグラフの「英語」では、平成17年は51%だったのですが、最近2年間で56%、57%と急激に向上しており、本市が独自に実施してきた小学校の英語活動が「わかる授業」に結びついてきていることが類推できます。最後に、学力と関連する学習意識や生活習慣についてですが、一般的に、日常の学習や生活の質問に肯定的に回答するグループは正答率が高く、否定的な回答をするグループは正答率が低くなる傾向がみられます。この差が大きいほど、学習や生活の意識や実態が、正答率に大きく影響する要素と考えられます。《学ぶ意欲》に係る項目は、「(1) 問題についてよく考えわかるまでがんばる」、「(2) 黒板の内容をきちんととる」、「(3) 勉強は大切だ」、「(4) 自分の苦手なことにも取り組む」です。意欲が学力に関連することは当然と思いますが、「とてもしている」を選択したほうが、正答率が高いとの結果が出ています。《家庭学習》に関する項目は、「(5) 家庭学習の時間」、「(6) 家庭学習の習慣」です。学力との高い関連性が認められます。差はかなり大きく、家庭学習における予習・復習が、学力の向上に大きく関連していることがわかります。最後に、《基本的な生活習慣》に関する項目は、「(7) 遅刻しないようにしている」、「(8) 毎日朝食をとる」です。朝のしっかりした生活習慣が、学習にも影響を与えていることがわかります。今後の対応としては、調査結果を詳細に分析、考察したものを報告書としてまとめ、各学校に配布するとともに、学校訪問の際の指導に活用していきたいと考えています。

津田委員長 19年度の県の平均正答率に基づいた「目標通過率」はいつ頃出るのですか。

指導課長 「目標通過率」は、県の前年度の平均正答率をもとに、本市で設定しているものです。

津田委員長 平均正答率の±5%は許容範囲であるとのことですが、例えば小学校5年生の社会・理科の正答率は、18年度は目標通過率より低く、19年度は高い、中学校2年生の数学では19年度が

低くなっている等が読み取れますが、19年度の県の平均正答率に基づいた「目標通過率」と比べるとどうなるのかと思い、質問しました。

指導課長 19年度の県の平均正答率は、今年度調査する「目標通過率」の設定に役立てていきたいと考えますが、おそらく、問題が変わらないため、県は平均正答率を動かさないのではないかと考えております。また、±5%の許容範囲とは、国の学力学習状況調査においても、前後5%程度であれば良好と判断しているということに基づいています。

報告事項(5) 学校給食「市民の日特別メニュー」の実施について

津田委員長 保健体育課長、報告をお願いします。

保健体育課長 報告事項(5)「学校給食「市民の日特別メニュー」の実施について」報告します。この取組みは、学校給食のメニューに、千葉市で採れる農産物を取り入れることで、本市の農業や食文化に対する理解を深め、ふるさと千葉を愛する心をさらに育てていこうとするとともに、地産地消の推進を目的とした、「市民の日」特別メニューの学校給食を実施するものです。実施日は10月16日、17日、20日の3日間。市立小学校、中学校、特別支援学校において、3日間に分けて実施します。実施内容ですが、市民の日に、千葉市内幕張方面で採れる人参などの市内産農産物等を献立に取り入れた特別メニューを実施するというものです。当日のメニューですが、千葉市で採れた新米コシヒカリの「ごはん」、千葉の海で採れるひじきを使った「手作りふりかけ」、千葉県で生産された「牛乳」、千葉県名産のピーナッツを細かく刻み、甘辛いたれとあわせ油で揚げた魚にからめた「魚のピーナッツがらめ」、鹿児島県の郷土料理をアレンジし、千葉県で生産されたさつま芋を使った、具だくさんの「さつま汁」、千葉市産の春採り人参を使った「ちはなちゃんゼリー」です。なお、ピーナッツアレルギーを持った児童生徒に対しては、代替食等により対応します。

報告事項(6) 千葉市立加曽利貝塚博物館の臨時休館について

津田委員長 生涯学習振興課長、報告をお願いします。

生涯学習振興課長 報告事項(6)「千葉市立加曽利貝塚博物館の臨時休館について」報告します。加曽利貝塚博物館が臨時休館する理由ですが、関係法令の改正を受け、平成19年度末に、天井材等のアスベスト含有状況調査を行った結果、1階講堂及び2階展示室の2箇所から、

法定の基準値を上回るアスベストが検出されたことに伴い、今回、天井材等の除去工事を実施するため、休館するものです。休館の期間は、平成20年10月20日から平成21年3月31日までを予定しています。なお、可能な限り工事期間の短縮に努め、一日も早い供用開始を検討します。休館に伴う対応ですが、工事の影響を受けない貝塚の見学、貝層断面等野外施設の解説、火起こし体験等各種講座の開催については通常通り実施します。休館に関する広報については、市政だよりに掲載するほか、ホームページへの掲載、館内掲示等を実施しています。なお、講堂及び展示室関係業務を除く博物館業務については、通常通り実施します。アスベストの状況ですが、平成17年度に調査を実施した時点では、基準値を上回るアスベストは検出されませんでした。その後、労働安全衛生法施行令等が一部改正され、基準値が従来の1%から0.1%へ、対象アスベストが3種類から6種類へと変更されたことに伴い、平成19年度末に再調査を実施したところ、基準値を上回るアスベストが検出されたものです。このため、直ちに、大気中へのアスベスト飛散量調査を実施したところ、大気中へは飛散していないことが確認されました。こうした調査内容について、館内掲示により、館を利用の市民への周知を図ったところです。そのほか、千城台公民館のロビーの天井材からもアスベストが検出されたため、除去工事を実施します。必要とされる除去工事はロビー部分のみであるため、玄関及びロビーは使用不可となりますが、集会室や和室、図書室などは使用可能であるため休館せず、利用者の安全確保を図りながら、通常通り市民に利用いただく予定です。工事期間については、公民館利用者からの、公民館文化祭終了後の工事实施の要望を受け、平成20年11月4日から平成21年2月10日までの約100日程度を予定しています。

報告事項(7) 第15回千葉県スポーツ・レクリエーション祭について

津田委員長 社会体育課長、報告をお願いします。

社会体育課長 報告事項(7)「第15回千葉県スポーツ・レクリエーション祭について」報告します。千葉県スポーツ・レクリエーション祭は、平成5年度に、千葉県において「第6回全国スポーツ・レクリエーション祭」が開催されたことをきっかけに、翌年度から、千葉市版として実施しているものです。千葉市体育協会、レクリエーション協会、体育指導員を中心に実行委員会を組織し、「いつでも、

どこでも、だれでも」が気軽にできるスポーツレクレーション活動の普及を図るために開催しており、今年度で15回目を迎えます。今年度は11月8日、9日の2日間、ポートアリーナをメイン会場として市内9会場、15種目を実施します。小学生から高齢者まで、参加形式は個人、親子、ペア、シングル等、種目はニュースポーツからテニス等競技性の高いものまで、幅広く多くの市民が参加できるように工夫されています。昨年度は役員、選手を含め4,007人の参加がありました。

報告事項(8) 2008国際千葉駅伝について

津田委員長 社会体育課長、報告をお願いします。

社会体育課長 報告事項(8)「2008国際千葉駅伝について」報告します。今年度で20回目を迎え、昨年度に引き続き、男女混合チーム、1チーム8人編成（男女各3人、補欠男女各1人）で実施します。11月24日（月・振替休日）午後1時7分に千葉県総合スポーツセンター陸上競技場をスタートし、千葉市中心街、幕張新都心42.195キロメートルを駆け抜け、同競技場にフィニッシュします。男女混合による世界初の駅伝を、千葉から世界へ発信することで、国際千葉駅伝をアピールすることができることから、昨年度、これまでの男女別から変更して実施し、日本が見事優勝しました。今年も12カ国14チームの予定ですが、昨年同様、陸上競技場、あるいはコースの沿道等で応援いただければと思います。また、当日、サブイベントとして、中学生の記録会等のイベントも予定しています。

議案第35号 千葉市図書館管理規則の一部改正について

津田委員長 中央図書館長、説明をお願いします。

中央図書館長 議案第35号「千葉市図書館管理規則の一部改正について」、図書館の休館日を変更するため、規則の一部を改正しようとするものです。新旧対照表の表中、休館日について規定しております第4条第1項第2号及び第2項第3号について、「年末年始（12月28日から翌年の1月4日までの日）」を、「年末年始（12月29日から翌年の1月4日までの日）」と改め、年末の12月29日を開館し、図書館利用者へのサービスの向上を図るものです。改正の経緯についてですが、近年の図書館運営は、市民を取り巻く社会情勢の変化や価値観の多様化、ライフスタイルの個性化等により、図書館サービスも様々な観点からの取り組みが求められています。このような状況を踏まえ、図書館のサービスについ

て、図書館、公民館に係る市民サービス向上検討会議を事務局内に設置し、市民の幅広い学習ニーズに応えることができるよう、様々な検討を行っています。この度の検討において、現在の厳しい財政状況の中で、新たな財政負担を伴う取組みは困難であることから、新たな経費の発生しないサービス向上として、休館日の削減による開館日数の増に取り組むこととしました。今年度は、年末の28日を開館し、休館日を1日削減するとともに、年1回の蔵書点検による休館日を1日削減し、計2日の開館日増を行い、図書館利用者の利便性向上を図るものです。

岩 沼 委 員 年末年始の開館日が1日増えるということで、サービスは向上していると思います。有料の宅配サービスがあったと思いますが、今はどのような利用状況ですか。

中央図書館長 有料宅配サービスは昨年10月から実施しているサービスですが、定着してきており、月に10件程度の利用があります。

議案第36号 平成20年度末及び平成21年度公立学校職員人事異動方針について

津田委員長 教職員課長、説明をお願いします。

教職員課長 議案第34号「平成20年度末及び平成21年度公立学校職員人事異動方針について」、千葉市教育委員会組織規則第8条第4号の規定に基づき、議決を求めるものです。本年度の人事異動方針では大きな変更点はありませんが、追加事項として、「第1一般方針の5」に、新たに、「障害者については、障害の内容や程度に十分配慮しながら、積極的な配置に努める。」との1項目を追加しました。これは、障害者については、昨年度から採用選考において特別選考を実施しており、また、一定以上の障害者の雇用が求められている現状もあることから、積極的な配置に努めていくこととしたものです。次に、変更点ですが、「第2 実施要綱の4 人事の刷新について(2)」の表現を改め、特別に指導力の向上を要する教員の扱いについて、従来、要綱で対応していたものを、本年4月の教育委員会会議第4回定例会で議決いただいた「教育公務員特例法第5条の2の規定に基づく指導が不適切である教諭等の認定の手続き等に関する規則」により積極的に対応することとしました。「実施要綱の7 栄養教諭」については、これまで、文部科学省の3年間の委託研究を受け、項目を新たに付け加えていたものですが、本年度で委託研究が終了することから、異動方針からは削除します。ただし、これまで配置した栄養教諭

の人数については、これから以後も確保を図っていきたいと考えています。人事異動は、学校組織の活性化を図るとともに、各学校における教育活動の一層の充実発展を図る条件整備と考えておりますので、学校や教員の実情をしっかりと把握した上で、適正な配置に努めていきたいと思います。なお、今後の予定として、12月1日に各学校長を対象とした異動方針の説明会を開催した後、具体的な異動事務を進めていく予定です。

協議事項(1) 平成21年度文部科学省概算要求主要事項について

企画課長 協議事項(1)「平成21年度文部科学省概算要求主要事項について」説明します。8月末に財務省へ概算要求が提出され、現在は予算編成の作業中です。大きく分けて3つに分けてまとめてあります。一つは未来を切り開く教育の振興、文化芸術・スポーツの振興、成長力の強化という3つの柱に沿って構成されています。歳出予算の一般会計ベースで、金額は5兆9,472億円で、前年度と比較すると6,733億円、率にして12.8パーセントの増となります。主要事項については、主な新規施策を中心に説明します。まず、「初等中等教育の充実 (1)新学習指導要領の円滑な実施 ①授業時間数増等への対応」についてですが、新学習指導要領の円滑な実施のための教材整備事業が新規に要求されています。この事業は、新学習指導要領の円滑な実施を図るため、新たに学校で使用する事となる教材等の購入に要する経費を補助するもので、本市としては理科教材、図書教材、小学校英語等を対象に予算要望をしていきたいと思います。「④外国語教育の充実」についてですが、英語教育改革総合プランが新規に要望されています。小学校外国語活動の導入に向け、教材整備等の条件整備及び高等学校における英語教育改善のための調査研究を行うものです。本市としては、小学校における教材の効果的な活用法、教科に関する実践的な研究及び稲毛高等学校におけるSELHiの成果を踏まえた先進的な取組みの支援を要望していきたいと考えます。「⑥中学校武道の必修化に向けた条件整備」についてですが、公立中学校武道場整備補助及び中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校等が新規に要求されるとともに、地域スポーツ人材の活用実践支援事業が拡充要求されています。本市では、武道場がない学校が1校(川戸中)あります。そのために、平成23年度を目途に、川戸中への武道場整備の予算要求をしていきます。また、地域連携指導実践校については、現在、学

校体育実技指導者協力者派遣事業、非常勤講師派遣事業などを行っており、今後、武道の拠点となる実践校を選定するとともに、地域スポーツ人材の活用実戦支援事業に武道指導者等を充実させ、より一層武道指導の充実を図るために要望していききたいと思いをします。次に、「(2)豊かな心と健やかな体の育成 ①体験活動・読書活動等の推進」についてですが、学校図書館活性化推進総合事業が新規に要求されています。これは、学校図書館のより一層の活性化を図るため、その機能の高度化に向けた実践的な調査研究を行うものです。学校図書館機能強化プロジェクトが全国18地域で予定されており、これに応募し、学校図書館環境の調査研究を行っていききたいと考えております。「②いじめ、暴力行為、不登校、少年非行、自殺等に対する取組みの推進」についてですが、スクールカウンセラー等活用事業費補助が拡充されています。拡充の内容は小学校への配置です。本市としても、各区1人計6人程度の配置を要望したいと考えています。スクールソーシャルワーカー活用事業についてですが、児童生徒の置かれた様々な環境に、専門的な技術を用いて支援するスクールソーシャルワーカー等の活用方法等について調査研究を行うものですが、全国で141地域が指定されることから、本市としても調査研究に着手していききたいと思いをします。「③情報モラル教育の推進」のうち、学校における情報モラル等教育の推進事業が新規要求されており、現在進めている情報モラル教育に関する開発や千葉市版の指導モデルカリキュラムの研究及び教員の研修等における情報モラル専門員の派遣の活用等について、国の動向を確認しながら、さらに検討をしていききたいと考えます。「④環境教育の推進」についてですが、環境教育推進グリーンプランが拡充要求されています。環境教育に関する優れた実践の促進・普及や環境教育に関する研修などを、環境省との連携・協力により実施するものですが、今年度の9地域から19地域に拡充するものです。これは県が窓口になりますので、県の動向を注視しながら対応していきます。「⑤幼児教育の推進」について、幼児教育の改善・充実調査研究が拡充されており、幼児教育に関する様々な課題について市町村教委などの教育団体に調査委託するものであり、全国13か所となるということです。情報収集をしながら検討していききたいと思いをします。「⑥キャリア教育・職業教育の推進」については、発達段階に応じたキャリア教育総合支援事業が新規要求となります。

小・中学校の発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育プログラムの開発に係る調査研究であり、全国で12県とのことです。千葉県が要望しておりますので、県が指定されれば、県からの依頼により対応していきたいと考えています。「⑦学校すこやかプランの充実」については、スクールヘルスリーダー派遣事業について拡充要求されています。教職3年以下の経験の浅い養護教諭の1人配置校に退職養護教諭を派遣する事業で、21年度からは国の委託を受けて実践することを要望したいと考えています。また、子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業が拡充要求されています。専門医による児童生徒等の健康相談等を行うとともに、専門医や各市町村の保健部局と連携しながら、子どもの健康管理の充実を図るとの事業で、20年度に引き続き、県のモデル地域指定を要望したいと考えています。「(3)教員が子ども一人一人に向き合う環境づくり ①教員の子どもと向き合う環境づくり」ですが、学校マネジメント支援に関する調査研究について拡充要求がされており、教員が児童に向き合う時間を確保するとともに、教員が心身ともに健康な状態で児童生徒の指導に当たれるよう、学校マネジメント支援に関する調査研究を行うとの事業で、全国64地域が指定されることとなっており、本市としても調査検討をしていきたいと考えています。「(4)学校耐震化等の安全・安心な施設環境の構築」についてですが、公立学校施設整備費負担金及び安全安心な学校づくり負担金等を活用し、立替施行で建設した校舎の買い戻しを行うとともに、公立学校施設の耐震化の推進等を行うものです。平成21年度は、校舎の買い戻し、校舎等改築工事、耐震補強工事、屋内運動場耐震補強工事、エレベーター設置工事等を計画的に取り組んでいきます。「2 社会全体での教育向上への取組み (2)社会全体の教育力の向上」についてですが、学校支援地域本部事業について拡充要求されています。現在本市で策定を進めている「千葉市学校教育推進計画」の中でも検討されています。本市としては今後、市単独事業として、この事業の整備を図ることで検討していきます。「(3)いつでもどこでも学べる環境の整備」についてですが、小中高等学校等における地上デジタルテレビの整備に係る補助事業について新規要求されていますが、平成23年7月の地上デジタル放送への完全移行に向け、当該補助事業を活用し、小中特別支援学校、高等学校のテレビのデジタル化を計画的に推進していきたいと

考えます。「(4)青少年の健全育成の推進」についてですが、青少年体験活動総合プランの中の、青少年の課題に対応した体験活動推進プロジェクトが拡充要求されています。本市は今年度より、ユースリーダー養成研修を実施しており、発展的な事業と考えられることから、19年度の事業報告を調査し、今後の動向を見ながら、検討をしていきたいと思ひます。以上、主なものを紹介しましたが、これ以外にも教育施策を実施するために必要な事業は多くあります。新年度予算に取り入れていけるようなものについては、積極的に手を挙げていきたいと思ひます。また、現在は予算要望の段階であり、財務省で予算編成作業中でありまふので、そちらの動向等を注視しながら、検討を進めていきたいと思ひます。

委員 応募の段階とのことでしたが、調査研究という文言が多数出てきました。それぞれの調査と研究に対する具体的な方法等を示していますか。

企画課長 それぞれ個々の事業によって、まだ実施段階ではなく、調査研究程度のレベルの事業であるものも多くあります。一方、既に具体的に実施している事業もありますので、そういった発展的な事業については拡大させていきます。そういう意味で「調査研究」という表現で各施策を説明しています。

委員 できれば少しでも入っているといいなと思ひましたので。

企画課長 すでに千葉市では取り組んでいる事業もあります。予算が大変厳しい状況がありますので、国から補助や委託金として相当な金額が出るものについては、財政的にも余裕ができますので、積極的に手を挙げていきたいと思ひますが、中には、1～3年程度の時限補助の場合もありますので、十分見極めていきたいと思ひています。

委員 概算要求全体を見ますと、社会状況の変化への対応のために、学校も子ども達も地域の方々も大変慌ただしく忙しいと感じますが、ここで、何も問題がない人と問題がある人の見分け方が非常に難しいと思ひます。単純に外から来た指導者に対し、たまたまお休みをしたりするときに、きめ細かな対応ができるかと心配をしました。そこまで考えて、やっていただけるのか、日程をずらすなど、そういった人たちも聞くことができるといったものももしあったら、それを含めて活用できるような方法をとっていただきたいと思ひます。そういった場面に直面した場合のことを

考えていただきたいと思います。

委員長 要求がなるべく通るようにきめ細かくというご意見ですが。

企画課長 予算編成の段階ですので、内容についても若干変わる可能性があります。そのような編成状況等を注視しながら対応していきたいと思います。場面によって内容も変わっていきますので、それらを取り入れていけるよう、対応しながら進めていきたいと思っています。

教育長 文部科学省が出している概算要求というものは、先ほど企画課長も説明したように、非常に難しく、時限事業である場合も多いです。放課後の居場所づくりとして、「放課後プラン」を実施した時は、本市では3年目で全小学校120校での実施となったのですが、国の補助が終了し、翌年の予算措置が困難となってしまいました。最終的に2,100万円程の予算の確保ができ、現在、千葉市では小学校120校で実施しているところですが、千葉県全体では、放課後子ども教室実施校は少ないという現状があります。このようなことから、概算要求を慎重に研究し、必要な事業を見極めて手を挙げていかなければならないと思います。また、現在の財政状況においては、事業はスクラップ・アンド・ビルドでやっていかないといけません。文部科学省の概算要求にはなるべく手を挙げていこうと、所管課は苦勞しています。交付金を受けられるものについては、手を挙げて3年間で成果を出していくという基本方針のもとに、各課で事業を精査している段階です。厳しい財政事情の中ですが、今まで千葉市はいろいろな新しい事業に手を挙げてきておりますので、なるべく手を挙げていこうという姿勢でいきたいと思っています。

委員 細かいところまで入れていただいて大変ありがたいと思っています。

7 その他

- (1) Qiball（きぼーる）のグッドデザイン賞（社会領域－公共施設・建築）の受賞について、生涯学習振興課長より次のとおり報告があった。

生涯学習振興課長 Qiball のグッドデザイン賞（社会領域－公共施設・建築）の受賞について、報告します。Qiball の施設全体としては、市長部局の都市局まちづくり推進課が担当していますが、教育委員会所管の千葉市科学館がこの建物の中にあることから、グッドデザイン賞受賞について、概略を報告します。昨年10月にオープンした千葉市科学館をはじめ、子ども交流館、ビジネス支援セン

ター等の市の施設が入っている官民複合の再開発ビルである Qiball が、財団法人日本産業デザイン振興会主催の 2008 年度公共施設部門のグッドデザイン賞を受賞しました。Qiball の施設概要については 15 階建て施設全体の延べ床面積では約 5 万 8 0 0 平方メートルありますが、このうち 7 階から 10 階までの、面積にして約 4 分の 1 にあたる約 1 万 3 千平方メートルが科学館として市民に利用いただいている施設です。今回受賞した Qiball の特徴としては、1 階のアトリウムから 10 階までのガラスのカーテンウォールの中に、惑星をイメージした直径 26 メートルの球体が宙に浮いて見えるという、地域のランドマーク的なデザインを採用していること、また、「子ども・子育て支援」や「生活・産業の情報発信」拠点としての 5 つの公共公益施設と 15 の民間商業施設、さらに 313 台の駐車場が隣接した官民複合施設であることを受け、建物のデザインも優れ、都市景観に新たなインパクトを与えるデザインが巧みに採用されており、完成度が高いと審査員から評価され、受賞につながったとのこと。本市における、市の施設のグッドデザイン賞の受賞については、昨年度に「フクダ電子アリーナ」、美浜区の「美浜文化ホール」が受賞しており、2 年連続で受賞しています。科学館については、昨日 10 月 14 日現在での利用者は延べ 4 万 8 千 3 人と、当初の 1 年間の利用見込みの 30 万人を大きく上回る方々にご利用いただいております。今後も、安全性の確保は当然として、リピーターの確保や魅力ある施設となるよう努めてまいります。

- (2) 次回第 11 回定例会は事務局において日程を調整の上、開催日時を決定することとした。

8 閉会

津田委員長より閉会を宣言